



第3期鶴ヶ島市教育振興基本計画の冊子



## 本市における特別支援教育の方針

もちだ 持田 やすあき 靖明 議員



## 総合計画の「子どもにやさしいまちづくり」につながっていく

**問** 通級指導教室には、保護者の送迎が必須となるが、そのために、通いたくても通えない状況があることについて。

**答** 支援が必要な子どもたちに支援が行き届くようにすべきである。各学校で通級指導教室が開設できるよう取り組みたい。

**問** スクールカウンセラーや学級運営補助員の配置について。

**答** 近隣市町と比べ、多くの人員を配置している。今後も各校の状況に応じて検討していく。

**問** スクールカウンセラーが行う検査が15件、年度内に実施できなかつた状況を考えると、スクールカウンセラーは足りてないのではないか。

**答** 他市に比べ多くの勤務日数を確保している。教育委員会と

しても、必要な支援を届けたいという思いはある。今後、検討していきたい。

**問** 小学校入学前を含めた早期発見・早期支援の必要性は。

**答** 小さな頃から発言や行動に対して叱られたり、合わない環境で我慢を強いられたりすることは、大きなストレスを感じると思われる。これが自己肯定感の低下や生きづらさとなり、気分の落ち込みなどの二次障害につながる。特性を持つ子どもへの早めの支援が必要である。



## 結婚・出産・子育てサポートの完結を

すぎた 杉田 やすゆき 恭之 議員



## 結婚支援の取組を多くの市民へ認知に努め、結婚、出産を後押しする

**問** 3年度の婚姻数と出生数は。婚姻数は598件、出生数は411人である。10年前と比較して婚姻数は102件、出生数は141人減少している。

年度に助成を行った45件中21件が妊娠に結びついた。

**問** 出生対策の現状と評価は。

妊娠期においては、妊娠届が提出された際に全ての妊婦と保健師や助産師が面談を行い、心身の健康状態や生活の状況などの把握に努めている。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポート体制を整えていく。

**答** 高額な治療費の負担軽減のため、早期不妊検査費及び不妊治療費の助成を行っている。3

子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点の機能を有する相談支援体制を整えてきた。一時預かり、病児保育などの保育サービスや保育環境の充実を進めている。また、子育てガイドブックや市ホームページにすくすく子育てのページを開設し、周知を図っている。

**問** 子育て施策の評価は。

**答** 子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点の機能を有する相談支援体制を整えてきた。一時預かり、病児保育などの保育サービスや保育環境の充実を進めている。また、子育てガイドブックや市ホームページにすくすく子育てのページを開設し、周知を図っている。

**問** 結婚支援策のお考えは。

**答** 男女の出会いの機会を創出するため、市単独ではなく、広域的な取組が効果的である。結婚支援策は短期間ではなく、継続的な取組が必要である。

